

新 DMLOAD プログラム

このプログラムは、最新の国土交通省の公共測量作業規定*¹で定義されているデジタルマッピングデータファイル仕様 (DMフォーマット) に従ったファイルを読み込み、AutoCAD図面を生成するものです。

*1 : 「作業規定の準則」平成23年3月31日改正 12月26日一部訂正

**ご注意：このプログラムは AutoCAD LT には対応していません。
レギュラーの AutoCAD のみでご使用いただけます。**

[新DMLOADの特徴]

1. 最新の作業規定に準拠
「作業規定の準則」平成23年3月31日改正 12月26日一部訂正に準拠するように見直しを行いました。
2. 標準フォーマット、拡張フォーマットの自動判定
標準フォーマット時の「J I Sコード」、拡張フォーマット時の「S-J I Sコード」を自動的に見分けて処理します。
3. シンボルの自動生成
新規に追加された「老人ホーム」、「風車」(12月26日一部訂正)も含めたシンボルを自動生成して挿入します。シンボルは最新作業規定で見直しされています。
4. より細かな分類の画層分け
下記の命名規則に従った画層を自動的に生成し、作画を行います。
[分類コード(4)]+[図形区分(2)]+[間断区分(1)]の7桁の数字の画層名とします。
5. 簡便な操作と高速読み込み
必要な時のみロードして実行する基本操作により、簡便で覚え易い操作性を実現。
6. 種々のバージョンのAutoCADに対応
AutoCAD 2005以降のバージョンに対応しています。
(上記以前への対応も可能です。メールにてご連絡下さい。)

[導入前の注意事項]

1. インストールは適切な **A u t o C A D** が既にインストールされていることを前提にしています。 **A u t o C A D** がインストールされていない時は、まず **A u t o C A D** をインストールしてください。
2. **A u t o C A D** が2つ以上インストールされている場合には、直前に実行された **A u t o C A D** 向けにインストールされます。
複数インストールされている場合、1つの **A u t o C A D** のみでご使用頂けます。

[導入方法]

1. 導入したい **A u t o C A D** を起動/終了する。(**A u t o C A D** が複数存在する場合)
2. **DMLoader.exe** 実行してください。
インストーラが起動しますので、その指示に従ってください。
3. アプリケーションをロードする。
ご使用の際には **AutoCAD** のツール/アプリケーション ロード : (**APPLOAD**) で該当フォルダー (既定値 **C:\¥DMLOADER**) の **ADIDMLOAD.VLX** をロードしてください。

新 DMLOAD

AutoCAD 内に指定された **DM** ファイルを読み込み、地図を表示します。

[操作方法]

1. コマンドライン上で **adidmload** とタイプします。
属性数値の標高を用いる場合、標高の単位が **mm** 以外の時は「**adidmloadx**」
とタイプして、以下の標高単位数値を入力してください。
m のとき : 1 . 0
c m のとき : 1 0 0 . 0
2. ファイル選択ダイアログで **DM** ファイルを選択します。
選択すると、以下のメッセージを出力します。
タイトル名 : "XXXX 基本図 " (例)
入力機器名 : "アビオマップ AMH " (例)
公共測量承認番号: "平6近公第135号 " (例)
作業機関名 : "株式会社 XXXXX " (例)
3. 続けて描画を行い、以下のメッセージが出力されて終了します。
REC NO. =xxxxx <-----(処理したレコード数を表示)
正常に終了しました。

[注意事項]

1. 画層名は描画するレコードの分類コード(4)+図形区分(2)+間断区分(1)の7桁の数字の画層名とし、存在しなければ新たに生成してその上に図形を描画します。
2. 文字スタイルはDMYOKO（横書き）、とDMTATE（縦書き）スタイルを新たに生成し、使用しています。
3. 以下のレコードタイプのデータは作図していません。
 - (ア) 属性要素レコード
 - (イ) グリッドレコード
 - (ウ) 不整三角網レコード
4. JSP・SIMA-DMフォーマットはインデックスレコードのバージョン番号の内容で判断します。
5. 属性数値の標高を用いる場合の標高値単位はすべて **mm** とします。ただし、**adidmloadx** を使用すれば他の単位として処理することができます。
6. 図郭座標が左下、右上とも入っている場合には、オブジェクト範囲ズームを行います。
7. シンボルはプログラムで自動生成して表示されます。現在、応用測量および測量記録用シンボルは準備中です。
シンボルが準備されていない場合には、点を該当レイヤに書き込みます。